

武良霜伯先生選評



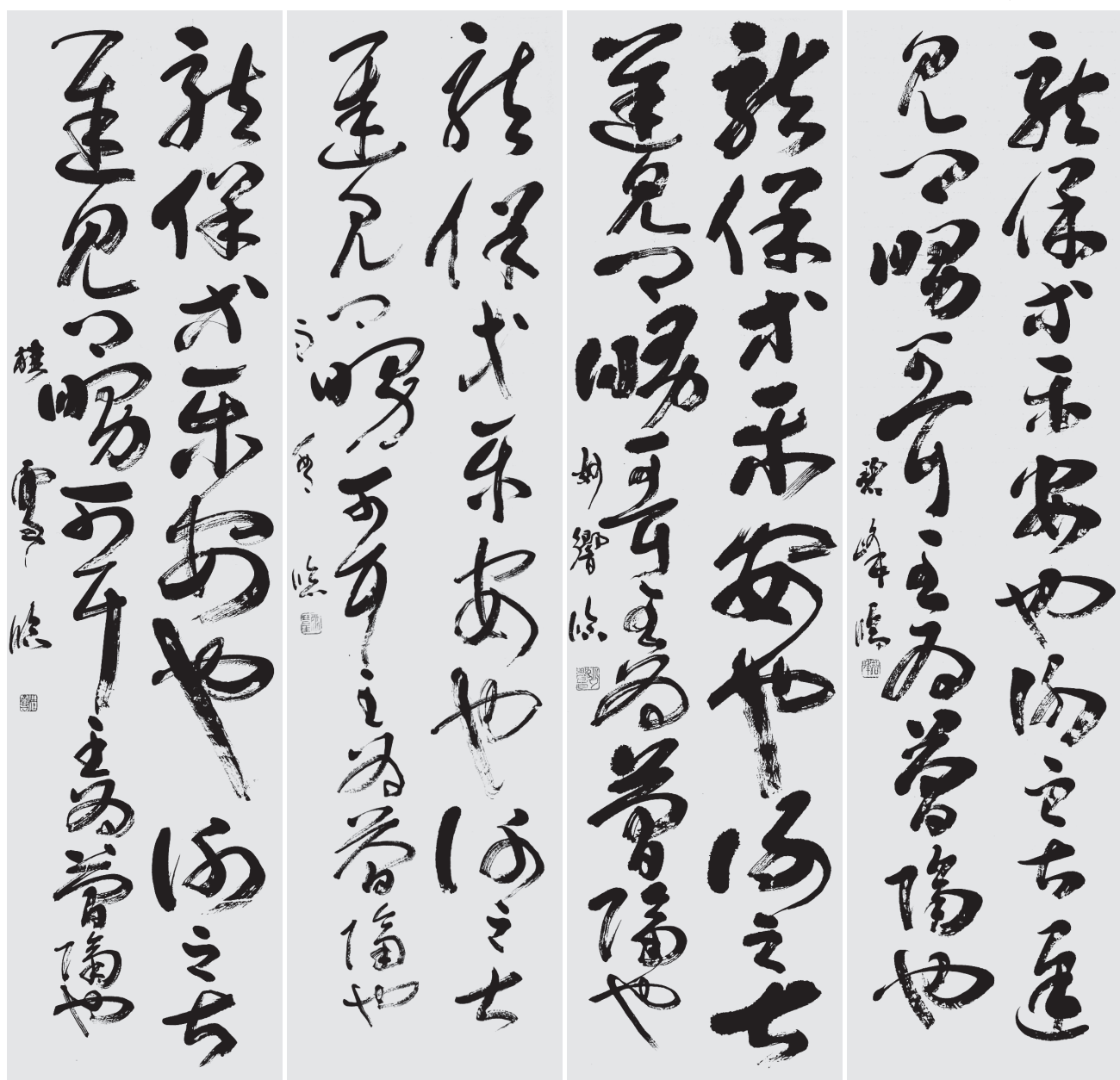
薬丸順子 推選
腕を思いきり振り回して紙
いっぱい書き放つており、
大胆な動きと、不安定な筆
の行き方にスリルと小気味
良さがある。活き活きとし
た、強い意志を感じます。

吉田郁江 推選
遠勢の大きさ、気張らず軽
快な運筆は、観るものに安
心感と和らぎを与える。空
間を遊ぶ線は無駄がなく暢
びやかさは流石です。研鑽
の高さが窺える作品です。

早川希久子 推選
筆の開閉が自在で良く躍動
している。縦横無尽に紙面
を切つてゆく腕の動き、振
幅の大きさと濃墨の強さが相
俟って、緊張感のある作品
となりよく纏まっています。

岩山香艸 推選
墨量が良く載っており、柔
らかい線質を醸し出してい
る。参考作品の雰囲気を持
くとなえ、温かみのある厚
い線質が開放感に満ちた、
安定した作品です。

高野清玄先生選評



藤井碧峰 推選
原帖を良く観察して自己のものとして消化し臨書できている。王羲之の書としての品格も高く章法が素晴らしく落ち着いて正面を向いている。正に龍保は平安也。

谷澤妙響 推選
大胆な運筆で書き上げられており筆者の生命の躍動が伝わってくる。身内を気づかう気持ちこれがこれほど強いものか。直線を活かした表現にも魅了される快作だ。

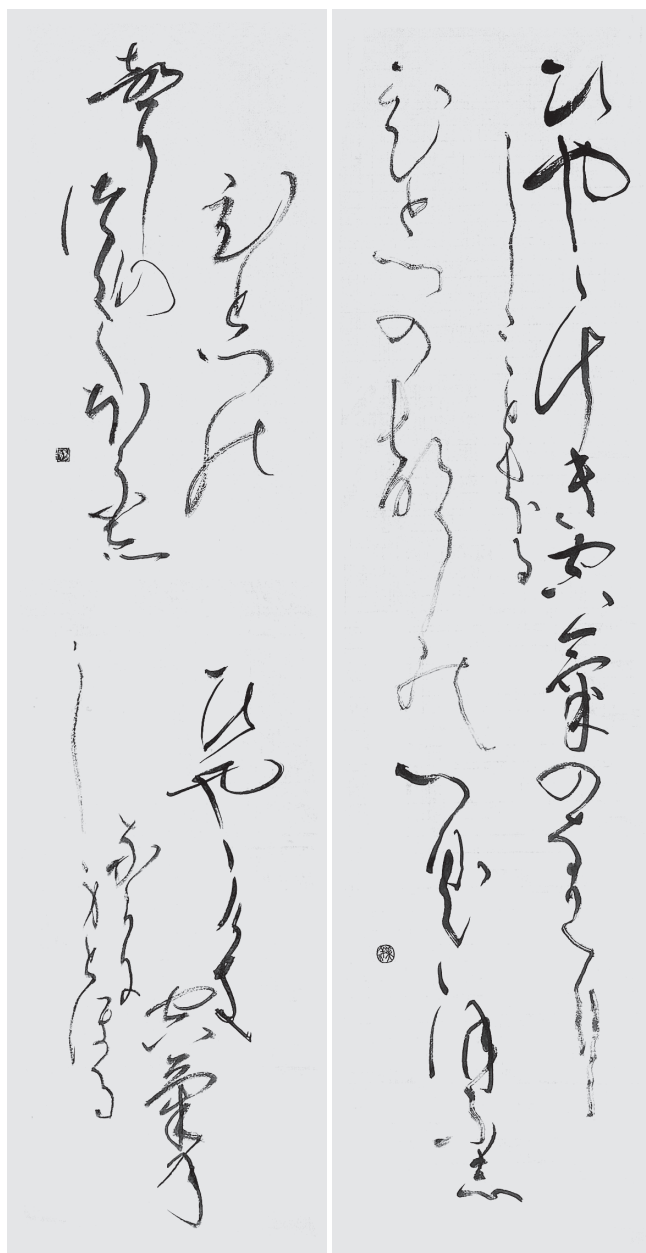
森川雨琴 推選
いつもながら瀟洒な雨琴ワールドに引き込まれる。龍保帖を修得され独自の料理をほどこし意臨的な表現をされた。力みなくリズムに乗り通貫した線はさすが。

金森桂雪 推選
鷗亭先生の参考作品を良く見て自分自身での作品に仕上げる事ができた。書き出しから「也」までの元気な生き生きとした運筆に対して二行目の軽いタッチが佳。

佐賀道子先生選評



露崎桂子先生選評



伊藤貞子 師範
墨彩美しく温かい筆線際立ち魅力的時にキリリと紙面にくい込む筆致は、余白に響き趣深い。醸し出される気品は、長年に亘り培われてきた素敵な持ち味ですね。

米倉紀子 師範
意図した構成で織りなす温雅な筆線は、筆の開閉・墨の推移美しく穏やかで格調高い。ただ下部が淋しくなり惜しい。渴筆に筆圧をかけバランスを...

大鈴佐智子 八段
明るい張りのある筆線に気力の充実があり好感。潤渴の変化も美しく見事です。ただ「は・奈・あ」等、右上がりの横線が気になりました。

松田 きぬ子 推選
勢いのある流れる様な筆線が魅力です。二段のちらしも変化に富み、筆者の楽しさが伝わります。更に渴筆部分が出ると作品の立体感が増し、一つ上の作に。

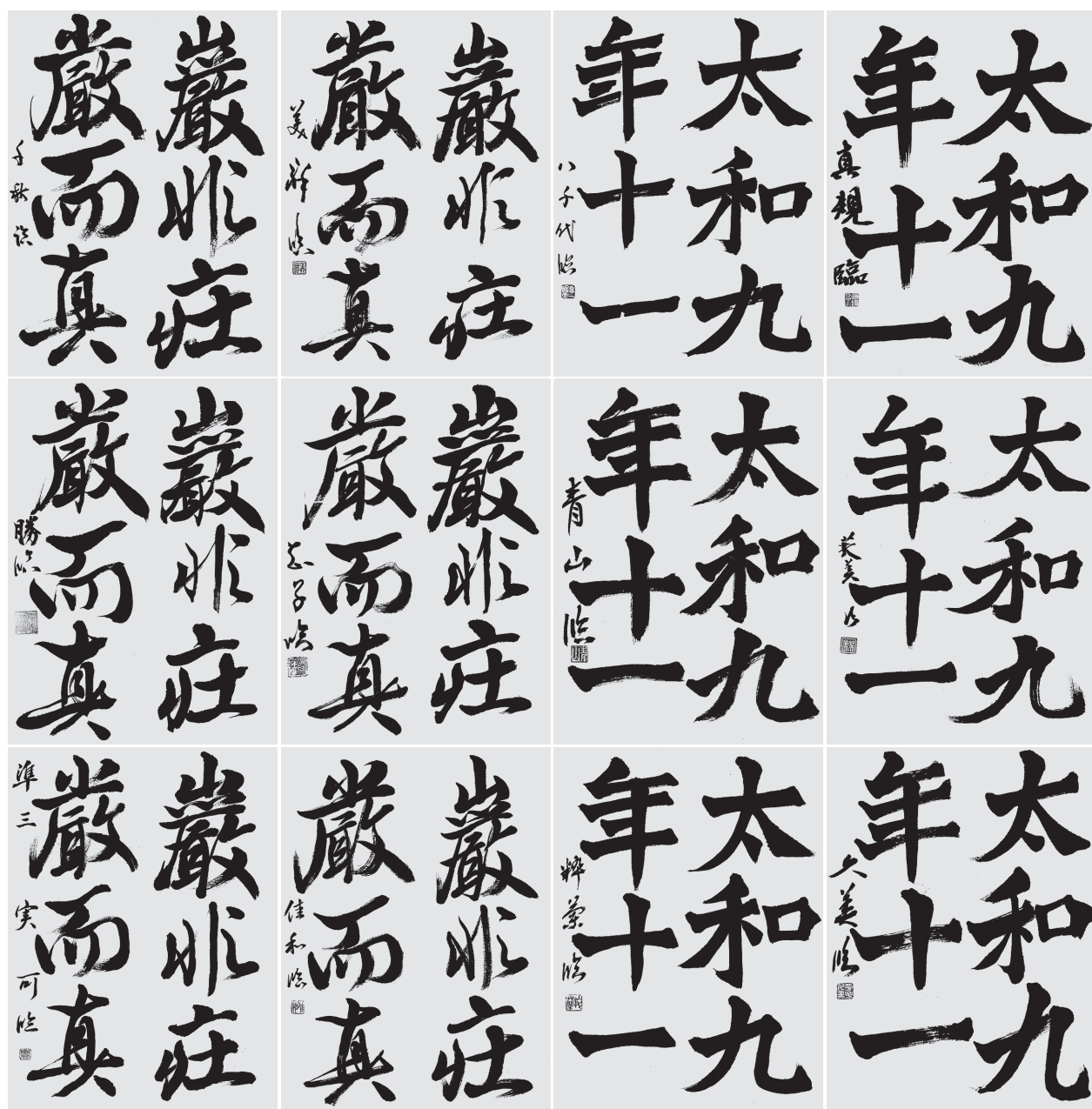
富永美祥 推選
参考作品の流れ、呼吸をよく掴んで書かれ、安定感のある落ちついた作です。墨色の変化も自然で良いのですが、やや筆勢の変化が出ると更に印象深い作に。

永田由美子 七段
筆管立ち凛と引締まった筆線で、墨の推移美しく立体感ある作。更に、呼吸の深い運筆が加味されると線にふくよかな趣が出てくるでしょう。

日浅尚子 六段
大らかな筆勢で古筆の特徴を丁寧に捉えています。墨継ぎ箇所で墨量・濃淡のメリハリが出ると遠近感ある景色の美しい作になったでしょう。

川上由美 準五
伸び伸びと明るい清澄感ある作に惹かれました。文字の形はよく見えます。今後は、行の流れ・疎密の変化・線の練度等、更なる期待。

葛西玄涛先生選評



萬代真規子 師範
全ての線に鋭い切れがあり、爽快で健康的な作品です。字形は原本に忠実に、線の角度や起筆と収筆をよく研究して、完璧に実践されています。

松田八千代 準六
細かな線の変化を描きながら、原本の空気を伝えてくれる楽しい作品です。軽快さを抑える重厚な線を適度に混ぜていて、静寂を感じるほどだ。

富永美祥 師範
強弱の激しい線と遅速の変化の大きさから、多種の味わいがあります。原本と規定手本をよく観察し、表現の幅を広げているのが素晴らしい。

辻千秋 準七
墨量の変化と温かい線と速度を増した運筆の切れのある活筆が好対照となり、変化の楽しい作品となった。曲線にゆとりがあるのも好感です。

三輪美 師範
伸びやかで、透明度の高い美しさを持った線の印象度が高い。柔らかな大きな腕の動きが安定しているのが、左払いと縦線に特に輝きと艶がある。

佐藤青山 四段
太めの線で字内空間を密にして、原本の空気を強く感じる忠実な臨書です。線の強さ、起筆の角度等、北魏の楷書の特徴をしっかりと表現した。

高志知子 師範
沈着重厚な線が、重低音のように響いてきます。紙に墨が浸透するのを待つ筆を動かしているような安定した線が、たくさんあって安心です。

石崎勝 準五
起筆の変化を鮮明に強調しながら、それぞれの文字を表現過多にならずに安定させて書き上げています。今後も高い技術の作品が誕生しそうです。

平子久美 八段
起筆の強靱さが目を引く。その起筆の力をそのまま使った線には、破壊力がある。少しだけある軽快な活筆が、作品に大きな変化をつけている。

林田粹蘭 二段
明るく爽快な線に若さが溢れている。文字が大きく見えるので、腕の動きが理想の大きさで柔らかいようだ。高度な才能を感じ、期待しています。

橋本佳和 準師
澀潤として伸びやかな鋭い線が、紙面に活気をもたらしている。線の質が作品に大きな影響を与え、その線を引くための心が必要というお手本。

倉井実司 準三
大きな動きから生じた魅力的で活発な線が、紙面に溢れています。文字の中心を揃えて行を組み立てたので、整頓された美しさを保っています。